

効率的で安全な林業とは

関で県森林研究所が発表会

県森林研究所（美濃市曾代）は十三日、関市わかさプラザで研究成果発表会を開いた。研究員ら五人がより効率的で安全な林業の最新成果を説明し、県内の林業関係者約百二十人が聞き入った。

研究所の茂木靖和主任専門研究員は、再造林のコストを下げるため、ヒノキの苗を早く、大きく育てる方

法を研究。元肥の量など育苗条件を調整したところ、一・五年生苗が二年生苗とほぼ同じ大きさに育ち、期間が短縮できると分かったことを発表した。

茂木さんは「より短期間で育つ苗を開発して単価を下げるとともに、長期間にわたってよく成長する条件を探っていきたい」と話していた。（本間貴子）



ヒノキの苗をより効率的に育てる方法を説明する茂木研究員＝関市わかさプラザで

岐阜県森林研究所ホームページ掲載期限：平成31年7月31日

この記事は中日新聞社の許可を受けて掲載しています。